

# 令和4年度「福島を生きる講座」 実施報告

当館では県民の皆様の文化振興に寄与するため「ふくしまを知る連続講座」を開催していましたが、新たに「福島を生きる講座」として、県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座やワークショップを開催する内容へと変わりました。今年度開催した第2回から第5回までの当講座（第1回は講師都合により中止）の内容について紹介します。

## 第2回 「福島の空襲を米軍資料から探る—国会国会図書館デジタルコレクションから—」

講師：紺野 滋 氏（ジャーナリスト・元地方紙論説委員）

開催日：令和4年8月6日（土）14:00～15:30

参加人数：17名

講師の紺野さんは第40回福島民報出版文化賞奨励賞受賞の『米英軍記録が語る福島空襲』（2016年・歴史春秋出版）の著者。前半は模擬原爆投下も含めた福島空襲の概略についての説明、後半は国会図書館デジタルコレクションを各自で実際に操作しながら、国会図書館で公開している福島空襲に関する「米軍資料」の英文を受講者全員で読み解くワークショップを行いました。

福島を生きる講座 第三回

### もっと知りたい！ 福島の鉄道

**日時** 令和4年8月21日（日）  
14時～15時30分

**講師** 鉄道博物館 学芸員 香月良太 氏

**場所** 福島県立図書館 講堂

**内容** 東北新幹線や県内のローカル線についての歴史を楽しく解説します。

**申込** 先着100名（事前申込制）です。以下のいずれかの方法でお申込みください。  
・福島県立図書館へ電話（024-535-3220）  
・直接来館（総合案内カウンター）  
・福島県立図書館Webサイトフォーム

**その他** □入館の際は「アルコール消毒液」で手指消毒を行って下さい。  
□参加者の体調によっては、参加をお断りする場合があります。  
□新型コロナウイルス感染症の状況により実施できない場合があります。

【お問合わせ】福島県立図書館（電話：024-535-3220）

## 第3回 「もっと知りたい!福島の鉄道」

講師：香月 良太 氏（鉄道博物館 学芸員）

開催日：令和4年8月21日（日）14:00～15:30

参加人数：80名（子ども8名、おとな72名）

埼玉県大宮市にある鉄道博物館の学芸員の香月さんをお招きし、前半は子ども向けのクイズなども交えながら福島県内の東北本線、常磐線、磐越西線、磐越東線、只見線、水郡線、会津鉄道などローカル線の歴史について、後半はおもに東北新幹線・山形新幹線の歴史や新幹線が速く走るための工夫などについて紹介していただきました。後半で新幹線が連結する時の動画を見せていただいた時にはお子さんたちの歓声が上がると、鉄道ファンが一体となり福島の鉄道について楽しみながら学ぶ機会となりました。

※当館企画展示「線路がつなげた150ぶんの40～鉄道開業150年・東北新幹線開業40年」（7月8日～8月31日）の関連事業として開催。

#### 第4回 「史料で読むドラマの主人公たち -五代友厚・渋沢栄一・古関裕而-

講師：渡邊 智裕 氏(公益財団法人福島県文化振興財団 歴史資料課長)

開催日：令和4年10月22日(日)14:00~15:30 参加人数：33名

大河ドラマ・朝の連続テレビ小説などドラマで主人公となった、五代友厚・渋沢栄一・古関裕而を取り上げ、歴史資料館所蔵の貴重な史料について画像で紹介しながら、地元福島との関連について紹介していただきました。



※福島歴史資料館移動展「ドラマになったふくしまゆかりの人々-五代友厚・渋沢栄一・古関裕而-」(10月7日~11月3日)の関連事業として、また「公益財団法人福島県文化振興財団講師派遣事業」との共催として開催。

#### 第5回 「戦後ふくしまの考古学 -福島県学生考古学会の活動から-

講師：廣川 紀子 氏(福島県文化財センター白河館 専門学芸員)

開催日：令和4年11月19日(土)14:00~15:30 参加人数：14名

福島考古学会顧問であった故目黒吉明氏の旧蔵資料を中心に昭和20年代から昭和40年代にかけての福島県の埋蔵文化財の取り組みに関わった専門家や、高校生を中心に設立された「福島県学生考古学会」について解説していただきました。

※まほろん移動展「戦後ふくしまの考古学-福島県学生考古学会の発足から福島県史の刊行まで-」(11月5日~11月30日)の関連事業として開催

#### 第6回 「世界のことばでおはなしかい」

講師：李智恵 氏 ブラッド・マシュー・ウィルソン氏

開催日：令和4年12月10日(土)11:00~11:30 参加人数：21名

韓国出身の李さんとニュージーランド出身のブラッド・マシュー・ウィルソンさんをお招きして、韓国語や英語と日本語の絵本の読み聞かせを行いました。また、簡単な挨拶やそれぞれの国の文化について教えていただいたりして福島の文化との違いなどを親子で学びました。

(企画管理部 加藤麻依子)